

● 日本の主な火山活動

御嶽山では、火山活動は引き続き低下してきており、現状では、2014 年 9 月 27 日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっているが、火口列からの噴煙活動や地震活動は続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 3 km 程度の範囲では大きな噴石の飛散と火砕流に警戒が必要である。

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続した。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、噴火は発生しなかったが、噴煙活動等は継続しており、今後も 2014 年 8 月 3 日と同程度の噴火が発生する可能性がある。また、火山ガス観測や地殻変動観測によると、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性もあるので、火山活動の推移を引き続き注意深く見守る必要がある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒が必要である。

西之島では、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地の拡大が確認されている。24 日に火口周辺警報（入山危険）を切替え、西之島周辺での警戒が必要な範囲を、島の中心から概ね 4 km に縮小した。西之島の中心から概ね 4 km 以内の範囲では、噴火に警戒が必要である。

吾妻山では、14 日に火山性微動が発生した。また、24 日から 25 日にかけて火山性地震が増加し、振幅の大きな地震も発生するなど、火山活動は活発な状態で推移している。大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性があるため、大穴火口から概ね 500m の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、23 日から 24 日にかけて火山性地震が一時的に増加した。湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、中岳第一火口で、連続的な噴火が発生している。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられる。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が時々発生している。表面現象に異常は見つかっていないが、地震活動が継続しているため、えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火が 12 回発生するなど、活発な火山活動が継続した。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

十勝岳では、水蒸気噴火の兆候は認められなくなったことから、24 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げた。

蔵王山では、11 日に火山性微動が発生した。観光や登山等で火口に近づく際には十分注意が必要である。

**表 1 2月28日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）**

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 2月28日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 27 年 2 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報 第 44 号～46 号、 第 48 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。 現地調査の状況。
		解説情報第 47 号	24 日 18 時 00 分	
西之島	火口周辺警報 (入山危険)	火口周辺警報	24 日 18 時 00 分	火口周辺警報を切替え、警戒が必要な範囲を、西之島の中心から概ね 4 km に縮小。
		火山現象に関する海上警報		
		火山活動解説資料		
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	降灰予報	14 日 20 時 12 分 15 日 16 時 35 分 15 日 17 時 43 分 15 日 19 時 37 分 21 日 01 時 19 分 24 日 00 時 28 分 25 日 10 時 35 分	噴火に伴い、降灰が予想される地域を発表。
		解説情報第 10 号～18 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日 16 時 00 分 2 日 17 時 30 分	
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報第 9 号～15 号、 第 17 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。 現地調査の状況。
		解説情報第 16 号	24 日 18 時 00 分	
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 13 号～15 号、 第 17 号、第 18 号	2 日、6 日、9 日、 16 日、23 日 16 時 00 分	噴煙・微動の状況、地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 16 号	14 日 11 時 30 分	
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 6 号～8 号 第 11 号	6 日、13 日、20 日、 27 日 16 時 00 分	地震回数等火山活動の状況。 23 日に増加した火山性地震の状況。その後の地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 9 号、第 10 号	23 日 15 時 30 分 24 日 10 時 00 分	
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 9 号～16 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日 16 時 00 分	噴煙等噴火活動の状況。火山性微動・空振の状況。現地調査の状況。
		降灰予報	3 日 13 時 53 分 26 日 09 時 50 分 26 日 15 時 10 分	
霧島山(えびの高原(硫黄山)付近)	火口周辺警報 (火口周辺危険)	解説情報第 9 号～16 号	2 日、6 日、9 日、 13 日、16 日、20 日、 23 日、27 日 16 時 00 分	地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
十勝岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、 平常)	噴火予報	24 日 18 時 00 分	ごく小規模な水蒸気噴火の兆候が認められなくなったことから噴火警戒レベルを 2 (火口周辺規制) から 1 (平常) に引下げ。
		火山活動解説資料	24 日 19 時 30 分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。